

うちわデータ作成の注意点

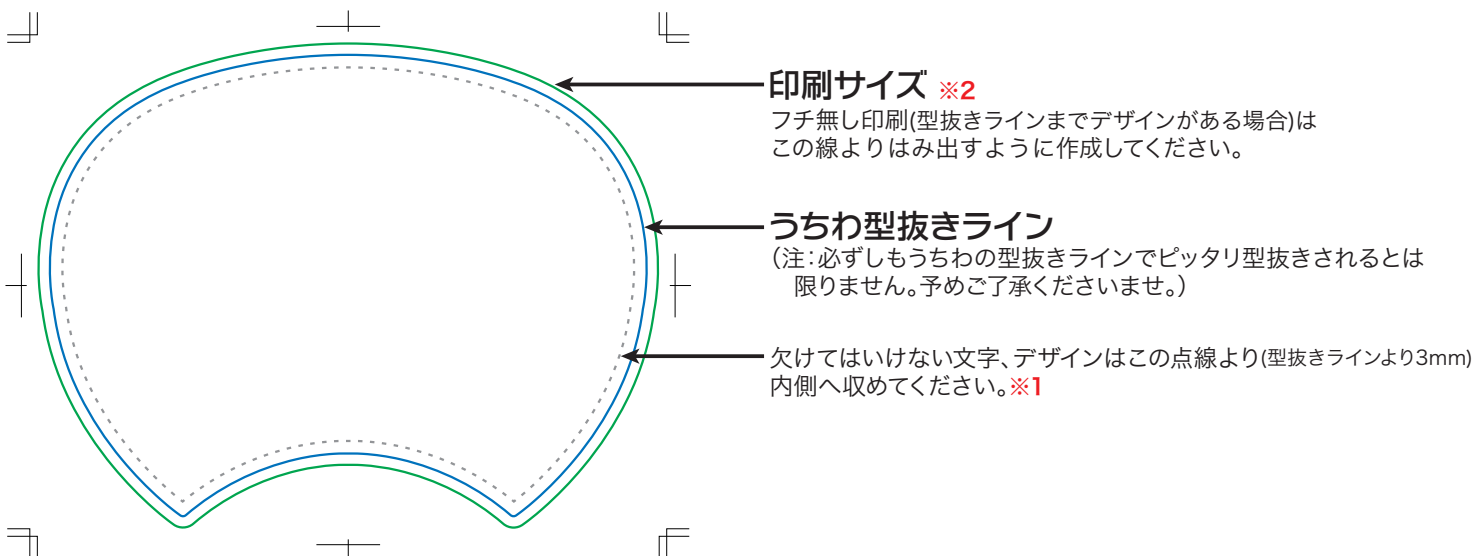
Ai イラストレータでのデータ作成時 Adobe Illustratorでのデータ作成注意点 対応バージョン Creative Cloud (CC) まで

1. カラーモードをRGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
2. Illustratorでは必ず「トリムマーク」を使ってトンボ(仕上りサイズに断裁するために必要な目印)を作成して下さい
3. フチ無し印刷(型抜きラインまでデザインがある場合)は印刷サイズまで塗り足しを必ず作成して下さい。 ※2
(※型抜きラインギリギリですと、型抜き時に白いフチができてしまう場合がありますそのため型抜きラインの外側にまで塗り足しを作成します。)
4. ヘアライン(線幅のない塗りのみの指定のライン※2)は印刷の時に消えてしまいます。ご注意ください。
※2 塗りで作った線はモニター上で見えていても、印刷時にかすれたり消えたりするため、印刷ができません。
5. フォントが無い場合、意図していないフォントに置き換わったり文字が化けてしまうため、テキストは必ずアウトライン化して下さい。
6. テキストを打った時にできる余分なアンカーポイント(孤立点)は削除して下さい。
7. Illustratorで画像をリンクしている場合は、リンク画像も一緒にデザインデータのフォルダに格納して入稿して下さい。
8. 保存時にバージョンを下げたりしないで下さい。(作成していたデータと保存したデータに違いが出てしまうので、ミスのもとになります。)
9. データの保存形式はeps形式かai形式にして下さい。

Ps フォトショップでのデータ作成時 Adobe Photoshopでのデータ作成注意点 対応バージョン Creative Cloud (CC) まで

1. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。
写真などの画像データは、原寸サイズで350~400dpiの解像度が必要となります。
線画状態の画像データは、原寸サイズで600~1200dpiの解像度が必要となります。
2. RGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
3. フチ無し印刷(型抜きラインまでデザインがある場合)は印刷サイズまで塗り足しを必ず作成して下さい。 ※2
(※型抜きラインギリギリですと、型抜き時に白いフチができてしまう場合がありますそのため型抜きラインの外側にまで塗り足しを作成します。)
4. レイヤーの表示非表示などで、印刷されないレイヤーがあったりトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、一枚の背景レイヤーに統合して下さい。またこれを行うと、フォントもラスター化され、フォントのアウトライン作成は必要ありません。
5. 保存形式はeps形式かpsd形式で保存して下さい。

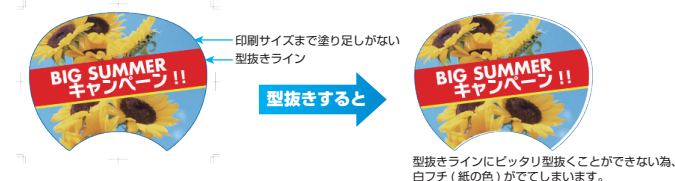
テンプレートデータについて(例)レギュラーGタイプ



補足説明



悪い例①



悪い例②

